

# ねっとわーく

## 市町村のページ〔特集：特色ある公民館活動〕

- 地域ボランティアの活躍 ……福岡市高宮公民館
- 「芦屋の子は芦屋で育てる」～学校サポーターの活動を通して～ ……芦屋町中央公民館
- 子どもを育てるために地域ができること ……うきは市御幸地区自治協議会
- 「いきいき山村いわや！」～公民館は地域の拠点～ ……豊前市岩屋公民館（岩屋活性化センター）

## こちら県公連

- 第61回福岡県公民館大会報告

平成28年11月 公民館情報通巻136号

発行 福岡県公民館連合会

〒812-8575

福岡市博多区東公園7-7

福岡県教育庁教育企画部社会教育課内

TEL 092-643-3887

FAX 092-643-3889

## シリーズ：特色ある公民館活動

福岡市高宮公民館



子ども料理教室

芦屋町中央公民館



鍛錬ウォーク

うきは市御幸地区自治協議会



バス研修

豊前市岩屋公民館



そば打ち体験

(写真は本文にも掲載)

## 地域ボランティアの活躍

福岡市高宮公民館

### 【地域の概要】

高宮校区は、福岡市中央区の南東に位置し、都心に近く交通の便の良い住宅地です。近年はマンションの建設により人口が格段に伸びている校区で、平成28年6月末現在校区内人口は12,814人(8,621世帯)となっています。

### 【経緯】

以前は、公民館主催事業の講師やお手伝いは、事業関連の機関や団体にだけ依頼していました。しかし、校区内にもさまざまなスキルや専門的な知識を有する人材が多く居住、通勤、通学しているのに、それらの人たちが地域において活躍する場があまり無いことに気づき、これらの人たちが活躍できるように事業を組み立て、校区内の人材発掘を推し進めた結果、公民館事業の多くに地域ボランティアが関わるようになりました。

### 【事業の内容】

主に子どもを絡めた事業に多くのボランティアが参加しており、「子ども料理教室」の講師や補助、「ふれあいそうめん流し」、「ふれあいキャンプ」、「子どもオリンピック」などの準備、引率、「地域探検隊」への協力等々が挙げられます。

ボランティアで参加される方々の年齢も性別も様々ですが、皆さん「自分にできることなら」「参加した子ども達の笑顔がうれしい」などの理由でボランティア活動に参加されています。なかには学生時代にボランティアに参加した人が、就職して県外に転居した後でも、時々高宮の事業に参加しています。

公民館各種事業にボランティアが多く参加されることにより、地域住民、子どもたち、学生などの交わる機会が多くなり、日頃の生活においても、心の垣根が低くなり、あいさつや会話なども多くかわされてきて、校区内の人と人とのつながりが強くなってきたと思います。



子ども料理教室



子どもオリンピック

### 【今後の課題】

公民館事業のすべてにボランティアが充足している状況ではなく、今後、種々の事業を充実させるためにも、ボランティア従事者の底辺拡大と公民館事業への参加者を増やすことが大きな課題と考えており、公民館と地域住民のつながり方などに工夫を凝らす必要があると考えています。

問い合わせ先 福岡市高宮公民館  
〒810-0013 福岡市中央区大宮2丁目2番11号  
電話 092-531-0029 FAX 092-531-0037

## 「芦屋の子は芦屋で育てる」～学校サポーターの活動を通して～

芦屋町中央公民館

### 【地域の概要】

芦屋町は福岡県の北端に位置し、響灘に面した美しい海岸線を持つ行政面積11.6平方kmの小さな町です。平成28年9月末人口は14,461人と年々減少傾向であり、また高齢化率も平成26年には25.9%となっています。町内の公民館は小学校校区ごとに芦屋町中央公民館、芦屋東公民館、山鹿公民館とあり、中央公民館は3館の公民館活動の中心を担っています。

### 【活動の内容】

芦屋町学校サポーター制は、地域住民が今までに学んだ成果を活かす場の開拓と学校との協働の推進を図ることを目的とし平成23年に発足しました。主な活動内容は、町内3小学校からの要請を受けて、学校行事の支援や見守り、除草や花壇の手入れといった環境整備、書道指導や読み聞かせといった多岐に渡る分野となっています。それぞれの公民館では各小学校からの要請を把握し、登録しているサポーターに対して活動の案内をし、活動当日の支援を行うといったコーディネーターの役割をしています。サポーター登録者数は3公民館合計で約90名、年間の活動のべ人数は約600名となっています。

### 【芦屋小学校の学校サポーター活動】

芦屋小学校では毎年の恒例行事として「鍛錬ウォーク」を行っています。低学年、中学年、高学年と3コースに分けてそれぞれ9km、15km、23kmの距離を歩行し体力の向上と精神の鍛錬を図るものです。今年度は10月14日に行われ、学校サポーターが行事の支援として参加しました。コースの途中には横断歩道のない道路を横切る箇所があり、学校サポーターが横断旗を持って安全に通行できるようにお手伝いをしました。またコースの要所で「がんばって!」と声かけするために待機をする役もあります。さらに低学年の支援では、一緒にコースを歩く元気な方もおられ、「日頃趣味の登山で鍛えてるから大丈夫!」ととても頼もしい返事が返ってきました。



もうすぐゴールよ!



ひとやすみ中

### 【今後の課題】

サポーターの高齢化と固定化が課題となっていますが、子どもとのふれあいのすばらしさを広めていき新たなサポーターの確保に努めていきたいと思いません。

### 【問い合わせ先】

〒807-0113 遠賀郡芦屋町中ノ浜4番4号 芦屋町中央公民館

電話：093-222-1681 FAX：093-223-568

E-mail：komin@town.ashiya.lg.jp



# 子どもを育てるために地域ができること

うきは市 御幸地区自治協議会

## 事業の内容

小学校区の公民館として生涯学習活動に取り組んできた御幸公民館ですが、現在は平成26年度に市内全域で一斉に発足した自治協議会で、青少年育成活動を協議会事業の柱とし、各種活動に取り組んでいます。

### 1. わんぱくくらぶ活動（\*各教室は月1~2回土曜日午前中開催）

- ① わんぱく教室（1）絵画（2）書道（3）将棋（4）民謡民舞  
（5）陶芸（6）みざれ太鼓（7）よさこい踊り（8）卓球

＜説明＞子どもたちに「生きる力」を身に付けさせるために、

御幸地区の小学生（1~6年生）を対象に地域の同趣同好サークルの方を指導者として開催しています。



わんぱく教室書道の学習の様子

- ② わんぱく寺子屋〔夏休み・冬休み〕（\*夏休み5日・冬休み3日程度実施）

＜説明＞御幸小学校の児童（1~6年生）を対象に、学習ボランティアサポートを受けながら、授業で学んだことを復習したり、課題（夏休みの宿題等）に取り組んだりする補充学習を行い、家庭における学習習慣の定着を図るものです。

- ③ 夏休みバス研修

＜説明＞夏休み期間中に、御幸小学校児童3~6年生を対象に50名程度で日帰りバス研修を開催しています。参加者は5~6名の班に分かれ、上級生がリーダーとなり下級生たちの指導をしながら、視察先で見学や体験を行い、異学年の交流や体験活動をしています。



バス研修の様子

### 2. 学童ドッチボール大会

健全な心身の育成を図るために、校区内の各行政区の子ども会が一同に会し、市総合体育館でドッチボール大会を開催します。4~5チームのパートに分かれ、パート毎の順位を競い合います。

大会前には1ヶ月間ほど、同じ地域に住む子ども達が、保護者をはじめ地域の大人達とスポーツを通して交流するなど、地域での子育てに取り組んでいます。

### 3. 子育てと教育を進める集い

地域が一体となって、子育てや教育について考える場として、御幸小学校隣接の市民ホールにて、御幸小学校全学年の学習発表会を開催しています。子育て応援事業やわんぱく教室の紹介と発表など、学校関係者だけではなく地域の方々を含め、様々な発表等が行われます。



わんぱく教室みざれ太鼓練習の様子

## 成果と課題

長年に渡り各種活動を続けていることで、子育てに対して小学校と地域と連携が取れ、友好な関係を築いています。一方で、今後益々重要になってくる地域による子育て支援に対し、増加する高齢者を活用し、子育て支援ボランティアを増やしていく必要があると考えます。

御幸地区自治協議会（住所）うきは市浮羽町朝田 389 番地 3

電話兼 FAX) 0943-77-3367 E-mail) miyuki-comisen@marble.ocn.ne.jp

## 「いきいき山村いわや！」 ～公民館は地域の拠点～

豊前市 岩屋公民館（岩屋活性化センター）

### 【地域の概要】

岩屋地区は、豊前市の南西に位置し2千年の歴史を有する求菩提山、自然豊かな犬ヶ岳を抱え、大半を森林で囲まれ岩岳川沿いに人口600人が生活し、主産業は無く、兼業農家が大半を占め、本市でも高齢化率が52%と最も高い地区です。

### 【公民館施設の概要】

平成14年度に小学校廃校跡地に本公民館が活性化センターとして建設される。

施設は、850㎡で、会議室、和室、調理室、情報室、事務所、多目的ホール（体育館）に広々としたロビーを備え、隣接地には11,000㎡のグラウンド、体験農園、河川公園が併設された多様な活用ができる総合施設です。

### 【公民館の役割】

平成9年に公民館管内の2校の小学校が廃校され、地域づくりの拠点として、平成14年度に学校跡地に本公民館を新築、地域づくりの拠点としてスタートしました。多くの文化財や自然景観等、本市大半の観光資源を有する地区で、施設には、観光案内所と観光情報コーナーを設け、来場者へのサービス向上を図り、観光ランドマーク的な施設としての役割を担っております。



### 【活動の特色】

本館では、森林セラピー、農村民泊、アジサイ見学等の受け入れ、ボーイスカウトの合宿、そば打ち体験等の施設として多くの方々が利用しています。休憩施設としても開放し、写真展、フリーマーケット、木工品展なども開催しています。



地域の女性が作るお弁当を提供する昼食会場や地域の特産品としての「求菩提そば」を使ってのそば打ち体験会場としても活用されています。本年から、「くぼて路のおひなまつり」を近隣の公民館2館と求菩提資料館の4館が連携して開催し、多くの方々を迎えています。2年前から渡り鳥のチョウゲンボウ（ハヤブサ科）を餌付けして公民館に住み着いています。

### 【今後の取り組み】

高齢化と過疎化の進む本地区の活性化施設として、多面的な利活用をするには、社会教育施設としての規制緩和を行い、地域の公民館活動はもとより、活性化施設として住民主導型の公民館運営や都市と農村の交流施設として地域の拠点化を推進します。

#### 【問い合わせ先】

〒828-0082 豊前市大字大河内 301 番地 3 岩屋公民館

TEL/FAX 0979-88-2002

E-mail : [iwaya-kan@aroma.ne.jp](mailto:iwaya-kan@aroma.ne.jp)

## 第61回福岡県公民館大会報告

第61回福岡県公民館大会が、平成28年8月10日（水）、久留米シティプラザ（久留米市）において、県内各地から公民館に関わる882名の方々に御参加いただき、盛大に開催することができました。

近年、少子高齢化、高度情報化、生活様式や価値観の多様化、地域における人間関係の希薄化等、私たちを取り巻く環境は大きく変化しており、新たな人づくり、地域づく

りが課題となっています。このような中、これまでの学びの場として社会教育の振興に寄与し、地域の自立・協働・創造に大きな役割を果たしてきた公民館が見直されるようになってきました。

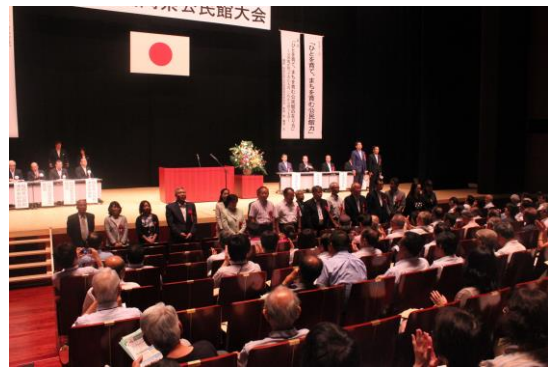
この機を逃さず、久留米市に県内の公民館関係者が集い、社会の変化への対応、公民館の機能と果たすべき役割、地域課題の解決に向けた新たな取組についてともに学びあうことで、「ひとを育て、まちを育む公民館力」をさらに高めるとともに、より一層の公民館の充実と発展をめざすことを趣旨として本大会を開催いたしました。



開会行事の様子



表彰式の様子①



表彰式の様子②

大会式典の表彰式では、地域の公民館活動の振興に顕著な御功績があった24名の職員の方々と、2館の公民館に対し、福岡県公民館連合会から表彰を行いました。表彰を受けた皆様には、これまでの御尽力に対しまして、心から敬意を表します。





インタビュー・ダイアログの様子

インタビュー・ダイアログでは「地域の課題解決に向けて、『公民館』はどうあるべきか?」と題して、秋田大学大学院教育学研究科教授の原義彦氏をコーディネーターとし、①那珂川町教育委員会社会教育課の栗田大氏、②鞍手町上木月区公民館長の井上正日出氏、鞍手町教育委員会教育課の吉田幹氏、③久留米市安武校区まちづくり振興会の緒方

麻美氏に御登壇いただきました。それぞれの公民館等における地域課題解決に向けた取組から、「計画と目標、課題の把握と自薦、新たな課題把握の重要性」が確認されました。

その後、引き続き原義彦氏より「ひとを育て、まちを育む公民館の在り方～公民館が担ってきたもの、これから担うもの～」と題して御講演いただきました。「公民館としてのブランドを生かし、公民館の役割である学習支援機能と地域づくり支援機能に基づいた新たな事業の創出」という福岡県公民館連合会が進むべき方向性を御示唆いただきました。



講演の様子（原義彦氏）

本大会を開催するに当たっては、特に、久留米市の皆様の御尽力により成功裡に終えることができました。心より感謝いたします。

来年度は、南筑後地区での大会を予定しております。参加された皆様からいただいたアンケートの結果等も十分参考にさせていただき、さらなる大会運営の改善に努めてまいりますので、今後とも公民館活動の充実・振興のために御尽力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。